

技術的条件に関する要望等について

□ 変調周波数の変更(アナログ方式ラジオマイク)

- 現行の変調周波数: 15kHz

→業務用音響機器全般的な伝送周波数特性を鑑み、変調周波数を20kHzに変更

□ チャンネル間隔の変更

- 現行のチャンネル間隔: 125kHz

→限られた周波数範囲内で使用できるラジオマイク本数の増加を図るために、チャンネル間隔を変更(細分化)

□ アナログ方式イヤード・モニターの空中線利得の緩和

- 現行の空中線利得: 2.14dB

→アナログ方式イヤード・モニターのカバーエリアをより広く確保するために、デジタル方式ラジオマイクのEIRP^{※1}を越えない範囲で指向性空中線(最大利得7dB^{※2})を使用可能とするための変更

※1 デジタル方式のEIRPは19.14dBm

※2 通常使用が想定される指向性空中線の利得値(メーカーからのヒアリングによる)